

びふか 議会 です

こんにちは。

2021 年 5 月

北海道／美深町議会

♪屋根より高い鯉のぼり

美深の一番東になびく



第1回
定例会 補正予算 2～3 ページ

予算
特別委員会 新年度予算が決まりました 4～8 ページ

条例制定 選挙費用の一部、公費負担へ 9 ページ

一般質問 ここが聞きたい 5議員 10～15 ページ

私からの
メッセージ 美深町と巡りあって、今ここに 川崎 厚志
これからも楽しいスポーツ活動を！ 小林 莉奈 .. 18 ページ

第117号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

第1回定例会

行政執行方針と教育行政執行方針が示されました。一般会計ほか3特別会計の補正予算審議が行われ、それぞれ予算特別委員会と総務住民常任委員会で行われました。

令和2年度
一般会計
補正予算審議

びふか温泉

コロナ禍減収影響額を再補填

下半期分750万円追加を可決

主な質疑

アイランド管理費

問

びふか温泉の
下半期4ヶ月分

のコロナ禍減収分の補填で、冬場の利用者減をどう盛り込んだのか。さらに、12月議会では、今議会で下半期6ヶ月分を対応する話ではなかったか。

答

上半期も1年間の利用平均で算出しており、同じ基準を適用した。2月、3月分は見込みでの算出が難しかった。

問

減収分負担の基本的な考え方は。

答

前回の定例会の提案と同様、公共性の高い施設であり、その部分に対するコロナ禍による減収額を補填するもの。

問

民間に対しては補償がないのに、町施設は補助するのは納得できない。

答

仮に町直営であったとしても減収分は、一般会計補正対応となるもので、指定管理ではあるが公的部分への補填であり、考え方は同じである。また人員削減や、ボートナスカットなど経営努力で赤字の圧縮も行ってきており、今回の補正を理解してほしい。

外国人英語指導者は

問

現在の指導体制は。

答

昨年2名が終了予定であったが、コロナ禍による国内外の移動制限により、補充が困難となったため、1名の契約を1年延長した。もう1名は入国の見通しがつかない。



体制新たに経営改善を目指す「びふか温泉」

第1回定例会は3月2日に開会し、令和3年度の11日には、5議員による一般質問と、令和2年度のした。会期中には、新年度予算と新条例の審議がそれ、17日の本会議で報告され全議案を可決し閉会

仁宇布バス運行は

問

補助金の増額要因と、観光客に対して乗車を促していく方策は。

答

コロナ禍で観光客利用者の減少により、補助増となった。現状は生活路線と考えており、その点については検討していない。

障害者福祉費減額は

問

不用額が2550万円と多くなっている理由は。

答

全部で15項目のサービスを展開しているが、各項目で数名の利用者減が発生しているのに加え、予算組の際、サービスが受けられなくなっていることあり、減額幅が大きくなった。

ホーム管理の現状は

問

山村留学ホスターホームの代替職員の報酬に減額が生じているが、現状と今後の対応は。

答

代替えを夫婦2名で見込んだ予算だが、確保できず1名で運営した。今後は夫婦に限定せず指導員と賄いで募集し、2名確保したい。

質問者

和田・藤原
岩崎・小口

修正案

採決

修正案否決 賛成少数

原案可決 賛成多数

このほか3特別会計は原案可決 全員賛成

一般会計補正予算 (追加分)

主な質疑

個人情報は大丈夫か

問

健康管理システム改修で、コロナワクチン接種記録と町民の健康管理システムが連携となるが、個人情報漏洩の心配はないのか。

答

国が把握するのはワクチン接

質問者

小口・藤原

原案可決 全員賛成

種に関わる全体のデータ記録であり、個人の健康に関する情報は対象としていない。

岩崎議員から提出された修正案(概要)

歳入では、地方交付税750万円を、歳出では減収影響額負担金にあたる750万円をそれぞれ減額するという内容。

減額修正案提案理由(要約)

- ①補正は当初予算編成後に予期しない制度改正等が生じた場合に組まれるべきものであり、当初予算の意義、財政運営の一貫性が失われないよう、必要最小限にとどめ、計画的・効果的な予算執行が求められるべきであり、今回の補正は妥当ではない。
- ②国から求められている振興公社の経営改善策が未策定であり、町民への公表もない。財源投入は経営改善計画確定後に行うべき。
- ③対応は令和2年度決算確定後に行うべきもの。またコロナ禍対応は新年度予算に計上し、予算委員会で議論すべきである。
- ④前定例会に続き今回の補正予算での負担金の取り扱いや、残り2か月分の処置も不確定であり、一連の手法・内容には納得できない。
- ⑤負担金ではなく、貸付金とすべき。

令和3年度予算審査

3月15・16日に予算特別委員会が開催され、第6次総合計画の第1章から第5章に沿って審査が行われ、農業政策や厚生病院の運営支援、振興公社の指定管理、山村留学の支援等について活発な議論が行われました。

令和3年度予算総額 69億1,327万円



齊藤 和信 予算特別委員長

総合計画
第1章

人と自然が調和する
快適で安全なまち



合同墓の考えは

問

合同墓の必要性などの考えは。将来的な問題として予算化していくのか。

答

今後、利用していく方のも考え検討していかねければならないが、現時点で合同墓を作る考えはない。

北部簡易水道事業

問

総合計画に令和6年以降の繰出金の予算計上がない理由は。

答

国からの通知で、令和6年4月から中央簡易水道と事業統合し公会計を目指している。

下水道事業

問

公営企業会計移行による下水道使用料金に及ぼす影

響は。

答

今の使用料金だと今後賄えなくなることも考えられ、検討していかねばならない。

クラス対策

問

対策にレーザーポインターを準備するが、今後の取り組みは。

答

レーザーポインターは、追いつための道具で実験的な部分も大きい。今後はクラスが来ない「きれいなまちづくり」を目指していく目標も立てていく必要がある。

一時停止標識は

問

8線道路の改良工事を行った時、4方向一時停止の8線道路側標識がなくなったが、新規事業の北1丁目改良工事時に

も同じことが考えられるのか。

答

警察は4方向一時停止と一灯式の信号は全道的にも撤去している状況。

北一丁目についても事前協議を行ったが、8線道路と同様になる

だろうとの回答を得ている。今後は注意喚起をしながら安全な交通環境に努めていく。

公営住宅の維持管理

問

建て替え中の西団地公営住宅の屋根雪で、構造上の問題・課題などはないのか。

答

構造上や設計的な問題はないが、屋根の雪下ろしなど他の公営住宅でも住民に対応をお願いしており理解してもらわねければならない。

問

老朽化が進んでいる公営住宅の対応は。

答

軽微な修繕は随時行っている。

大きな補修が必要な建物についても今後対応していく。

質問者

荒川・和田
藤原・岩崎
名取

規制が変わり注意喚起が必要な
東1条と8線道路の交差点



地域産業の新たな飛躍へ 挑戦するまち

未来へ続く
笑顔あふれるまち
美深

プレミアム商品券

問

例年補正予算として対応しているが、本予算に計上を検討してはどうか。

答

カンフル剤的な臨時的事業であり、要望に応じた追加予算としての考えをもとに実施していく。

チョウザメの成果は

問

予算増加の具体的な内容は。商品化の現状と今後の予定について。

答

予算増額の最も大きいものは

チョウザメ運搬用中古トラックの購入。昨年度は、キャビア約6kgの収穫があり、半分は温泉料理として提供し、残りはびふか温泉売店とネットで販売している。

今年度については、生産予定量は少なく、まだ増産傾向にない。



「美深キャビア」初の商品化へ

がんばる美深農業支援

問

スマート農業推進事業の支援は、具体的にどのような内容か。

答

令和2年度はトラクター等に設置するGPSガイドシステムと基地局を整備し、この春から10戸で稼働する予定。今後、新年度予算で希望者を増やしていく。益々進む事業と考え、高齢化や労働力不足に



対応していく。

中小企業の支援は

問

コロナ禍の中、予算額が減額されたのは、どのような原因か。

答

コロナ関連支援では、国から有利な融資が実施されたことにより、町の融資制度の利用が減少している。コロナ禍の影響を受けていない中小企業はこれまで通り継続支援していく。

第3セクター経営は

問

びふかアイランドの指定管理料に1200万円追加して8383万円としたが、公費負担を指定管理料とした理由と1556万円の職員の派遣内容は。経営改善計画が前提であり、責任ある対応が必要では。

答

指定管理費増額は社会的状況の変化等により、経営努力だけでは補えない減収となった公的部分の支援分として算定したもの。一定期間、町職員2名を派遣し、第3セクター2社を一本化し、体制強化と経営改善を目指す。派遣職員の給与は、町が公社に支払う。

問

指定管理者制度は民間によるサービスの向上と経費の節減が目的、大きな累積赤字の公社経営とアイランドの指定管理のあり方について立ち

答

止まって考えをめぐらすいい機会ではないか。今回は人口減少や社会変化要因への処置であり、今後は、経営分析で不効率な部分や改善策を示して経営改善に努める。経営の統合により、サービスの向上とアイランド一帯の経営改善につなげていきたい。

問

管理職2職員の派遣で、町行政運営に支障はきたさないのか、派遣期限と目指す着地点は。

答

派遣期間は2年間とし、厳しいが町職員の協力で何とか乗り切っていくたい。町民への説明会も開催し、経営改善をやリ遂げる決意である。

質問者

岩崎・荒川
藤原・田中
和田・小口

問 電子カルテ導入により、救急搬送の際に家族が希望する病院への搬送が可能になるのか。

答 救急救命を担当する消防との連携はしていない。今後の課題である。

問 瀬尾医院が閉院することに伴い、転院する患者を受け入れる体制に問題はないか。

答 看護師が不足している現状はあるが、常勤医2名に、派遣医師1名を加え3名体制で対応できると見込んでいる。

高齢者の生活支援
問 今年は例年になく雪が多く、除雪サービスの関連業者も人員不足で困難な状況。十分な対応は今後できるのか。

答 人員不足は把握しており、委託先の社会福祉協議会と協議しながら実施体制を図っていききたい。

オレンジかふえ運営は
問 3年を経過し、開催回数の見直しや、コロナ禍で中止が多く、開催方法も工夫が必要と考えるが。

答 今後毎月1回の開催を考えている。コロナ禍でも開催できるように、人数制限を設けるなどの工夫をしていきたい。

個人の参加者には、ボランティアによる個別訪問も検討している。
グループホーム整備
問 1ユニット9名の施設整備だが、総事業費の詳細は。

答 また、職員の確保面で町内の他の事業所に影響を与えないか。

問 今回計上した部分は道の補助金で賄われるもの。

答 介護従事者の確保は懸念されるところだが、新設される施設では段階的に入所者を増やし

たり、外国人を採用するなど対策を考えている。

介護保険料
問 基金の残高が増えている状況にある。還付することもあり得るのでは。

答 基金の取崩しによって保険料を据え置き、美深町は

質問者
小口・岩崎
藤原・荒川
和田・名取
田中



オープンが待ち遠しい「オレンジかふえ」

総合計画
第5章
**みんなでつくる
自立したまち**

地域おこし協力隊

問 これまで協力隊員がさまざまな事業展開をしているが、中々定住につながっていない状況にある。今後の進め方は。

答 これまでは、チヨウザメ飼育にかかわる方、就農された方、商店をかまえた方もいる。今後も隊員の任期三年後には定住につながる募集を考えたい。

北大と連携の成果は

問 チヨウザメ事業推進での北大水産学部との連携強化の成果は。

答 コロナ禍の中でも受精、採卵、検卵、学生研修の受入など当初の計画どおり受け入れできた。



今後も成果を期待したい
北大との連携



ふるさと納税の現状は

問 ふるさと納税
基金の利活用は、
寄附の目的、
使途に応じて基
金に積み立てている。
今後、使途に合致する
事業に充当する。

答 ふるさと納税
の返礼品として
新しい商品開発が必要

問 ふるさと納税
の返礼品として
新しい商品開発が必要

答 ふるさと納税
の返礼品として
新しい商品開発が必要

総括質疑

資産等の公売方法

問 不用財産の公
売の実施方法を
伺う。

答 公売する資産
の現状や減価償
却など基準をもとに公
売価格を決めている。

町長の行政運営は

問 町長の行政推
進の姿勢につい
てだが、多くの町民と
膝を交え多種多様な意
見を取りまとめ、予算

見を取りまとめ、予算

ではないのか。

答 年に1〜2回、
会議を開いて新
しい返礼品について協
議をしている。今後も
定期的に魅力あるもの
を含め、新しいものを
考えていきたい。

質問者 岩崎・藤原
荒川・和田

に反映させるような町
長であって欲しいと思
うが。

答 予算特別委員
会に二日間出席
し、多くの意見を聞か
せてもらった。みんな

に反映させるような町
長であって欲しいと思
うが。



第6次総合計画ロゴマーク

でつくる町づくりのた
めにも今後とも努力し
ていく。

質問者 岩崎

討論

2委員から反対討論
がありました。

採決

一般会計

原案可とすべきもの

賛成多数

小口委員から自身の
反対討論について「少
数意見留保」の申し出
があり、岩崎委員と五
十嵐委員の賛成により
本会議で報告されるこ
とになりました。

6特別会計

原案可とすべきもの

全員賛成

岩崎委員の反対討論

農業費の削減では、「畜産クラスター関連
事業補助金」が実績と事業予定者があるにも
関わらず予算項目から全額削除されたこと。

教育費では、「仁宇布地区山村留学制度推
進協議会負担金」の管理費等の予算額は前年
度の決算を根拠にした予算額に減額したこと、
親子留学助成金では質疑の中で扱いを変更し
たことは、予算修正提出が必要。疑義のある
予算削減と手続き。

商工費では、「森林公園美深アイランド指
定管理料」の増額等は、町民への説明と抜本
的な経営戦略の策定後にすべきで、公の施設
を理由に多額の財政投入には大きな疑義があ
る。よって、一般会計予算に反対する。

小口委員の反対討論

商工費美深アイランド管理費の中、森林公
園美深アイランド指定管理料について、減収
分を管理料に転嫁することについて経営改善
計画を提示して審議すべきであり、公費負担
部分の内容にも疑義がある。また、振興公社
派遣負担金についても、経営に対し専門的な
知識を持ちえない職員の派遣に疑義がある。

教育総務費事務局費の中、仁宇布地区山村
留学推進協議会負担金について、校舎改築と
負担金は別問題で、将来に向けての地区全体
の協議の必要性和美深町民全体の意識の共有
こそが急務であり、取り組むべき課題と整理
の必要性を感じる。以上のことから一般会計
予算に反対する。

用語解説

少数意見の留保

委員会における少数者の意見について、他に賛成委員一人以上あれば本会議で報告することができる。
民主政治の少数意見尊重の精神からできた制度。

美深町議会議員及び美深町長の選挙における 選挙運動の公費負担に関する条例

なり手不足の解消を目的に

選挙費用の一部、公費負担へ

次回の町長・町議会議員選挙から可能に



標記の範囲内で公費負担ができるようになり、候補者と契約した者に支払われます。立候補者個人には支払われません。

公費負担の内容

3月12日に総務住民常任委員会が開かれ、付託議案審査が行われました。
この条例が選挙時の立候補者の負担軽減により、なり手不足の解消を目的とし、また全国の町村が同一基準で導入を進めているものであり、委員会でも異論はなく、全員一致で原案可決すべきものとし、本会議に報告されました。

17日本会議 原案可決 全員賛成

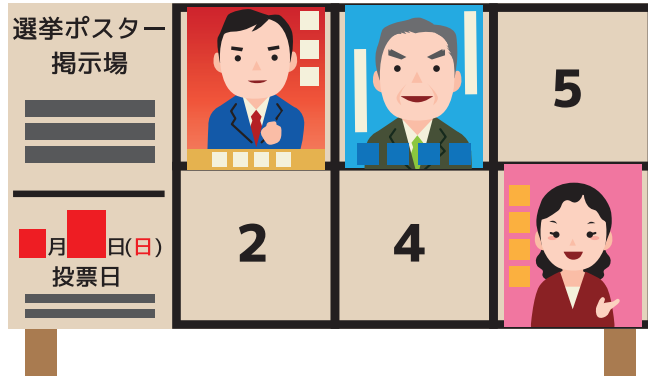
同時に、公職選挙法の改正により供託金制度も町村に導入され、町長候補は旧来の50万円、議員候補は新たに15万円の供託金納付が義務付けられます。

①選挙運動用自動車

- 1.一般運送契約(ハイヤー契約) 1日64,500円まで
- 2.その他の契約
 - ア.自動車借入契約 1日 1台15,800円まで
 - イ.燃料供給契約 1日 7,560円まで
 - ウ.運転者雇用契約 1日 1人12,500円まで

②選挙運動用ビラ(2種類まで作成可)

- 1.町長 5,000枚まで
1枚単価 7.51円(上限37,550円まで)
- 2.議員 1,600枚まで
1枚単価 7.51円(上限12,016円まで)



③選挙運動用ポスター

(掲示場の数により1枚当たりの単価が異なる)

▶前回の美深町の場合の例で計算すると

(単価525.06円×34ヶ所+50,200円)÷34ヶ所=2,001.5円

1枚当たり 2,002円×34ヶ所で上限68,068円まで

5議員
町政を問う

一般質問

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成をしています。

名取 明美 議員

- ワクチン接種後の高齢者における新しい生活様式について

藤原 芳幸 議員

- 新校舎完成で新たな段階へ踏み出す山村留学の展望について

和田 健 議員

- 移住定住促進と関係人口の創出について

岩崎 泰好 議員

- 第6次総合計画の初年度にあたり令和3年度の重点施策と予算編成の考え方を問う
- 特色ある教育と位置付けた「山村留学」の課題解決の取り組みは
- 赤字が続く「びふか温泉」経営を心配する町民の声を聴く安心を与える説明が必要では

小口 英治 議員

- 各種団体の長に町長が就任すべきか
- 住民参加のまちづくりの推進の拡大について

一般質問とは・・・

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更・是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。



名 取 明 美 議員

① ワクチン接種後の高齢者における新しい生活様式について

問

介護予防には、社会参加が必要

答

外出・運動する
機運づくりから取り組む

質問

2020年4月に日本老年学的評価研究（JAGES）が、「新型コロナウイルス感染症対策が長期化し、外出や交流を控えることが認知症の発症や要介護のリスクの増大に影響を与える。このままの状況が続けば介護認定者は3年後には倍増する」と言われている。

ワクチン接種後、これからの新しい生活様式について、幸いにも町では感染者の確認はなく、町民の皆様

式は「感染対策しながら、何ができるのか、どうしたらできるのか」の構築だと考える。命を守るだけでなく、感染予防しながら、健康維持のための社会参加、コミュニケーションと笑える環境づくりが必要と思うが。

町長

では感染者の確認はなく、町民の皆様の予防対策に対し、努力のたまものと感じ、感謝を申し上げる。地域包括支援センターの電話による調査では、感染予防しながら健康維持・外出交流をされている方も多いと聞いている。

今後も引き続き感染

質問

予防対策の理解と協力を賜るようお願い申し上げます。

町長

町の行事を今年は、どのように進めていくのか。今年は、各行事を工夫しながら

質問

ら、開催する方向で、努力していく。

ワクチン接種後、高齢者の命

と健康維持のための活動環境づくりは、行政とボランティアと地域がより一層協力していかねばならない。命と活動環境づくりの両立が必要と思うが。

町長

ワクチン接種後においても、感染予防対策を当面継続していく必要がある。また、ボランティアの

質問

介護予防には、社会参加の環境づくりが必要であるが、外出を恐れている方もおり、地域・ボランティア、更に行政の協力により安心して暮らせる日々がくることを願うが。

町長

行政とボランティア、社会福祉協議会、自治会等の協力で、高齢者の外出と運動に関わる機運づくりから取り組んでいかなければならない。



- ① 新校舎完成で新たな段階へ踏み出す
山村留学の展望について



藤原 芳幸 議員

問 支援を充実し留学生の安定確保を

答 関係者と協議し 支援を継続する

森林認証認可プレート
(仁宇布小中学校内)



教育長 山村留学・英語教育に加え、森林教育を美深の特色ある教育として進めている。また仁宇布小中学校は、建物全体が森林認証を取得する国内初の大規模建築物となることから、これを機に町が進める特色ある教育と合わせてPRしていく。

質問 新年度より新校舎が完成する仁宇布小中学校で授業が始まる。
美深の特色ある「山村留学の里」として飛躍できるよう取り組みなければならない。これまで以上に、学習内容や支援を充実させ留学生を集めていくことが求められる。

山村留学への受け入れ体制・環境整備はこれからも必要で、支援は運営している山村留学推進協議会と協議し新年度の内容を見直したが、詳細は再度協議中で、結果は町部局へ報告する。今後も留学生の声を大事にしたい。

質問

山村留学が果たしている全国

の子どもたちが大自然の中で学ぶ場の提供や、ここで成長し巣立っていくことに貢献している教育的価値、また学校により地域が形成され、町にとっても有意義であることを町民にもっと知ってもらえるよう努力する必要がある。山村留学の声を伝える場として、COM100にコーナーを設置するとか、ギャラリーで「山村留学の歩み展」などを企画し、広く紹介すべきではないか。「美深の子どもは町民みんなで育てる」のス

ローガンに「みんなが応援する」が加わり、町民の理解が深まると素晴らしいが。

教育長

これまでCOMカレッジでの教育長講話や施設見学会で紹介している。

山村留学も30年を迎え、延べ366人が巣立っている。卒業生たちの手紙も拝見しており、学校でも山村留学の歴史を整理している。



新しい校舎で授業が始まる
仁宇布小中学校





和田 健 議員

① 移住定住促進と関係人口の創出について

問

移住定住促進へ熱意あるか

答

率先した対話をもとに
一体となって努力する

質問

人口3千人台の町が視野に入ってきている中、町財政の確保面や町内の経済活動、日常の地域活動の維持・発展において、移住定住促進は新たな局面を迎えている。経済効果等の分析や、コロナ禍の影響による地方移住への関心の高まり、外国人労働者の受け入れ等を考慮した今後の展開は。

町長

人口4千人台を割ることは行政としても危惧している。何らかの優位性を付けたとしても定住につながるとは考えづらく、町民への行政サービスの拡充が第一という方針は変わらない。

質問

移住定住希望者の相談や、移住された方の相談をワンストップで一括して扱う窓口が必要と考えるが。

町長

空き家情報の整理も含め、相談窓口など十分に充実させながら、地域一体となって取り組んでいく。

質問

町長のリーダーシップのもとで、役場職員と心一つに、移住定住促進に取り組む熱意があるか。

町長

第6次総合計画に掲げた「みんなでつくる自立したまち」には、私自身が一生懸命町民と対話し、職員にも努力するように求める意味も込められている。

問

山村留学制度は子どもたちのふるさとづくり

答

美深を故郷と想ってくれる
応えていかなければ

質問

開始から30年の長い歴史を育んだ山村留学制度は、教育的価値のみならず、子どもたちのふるさとづくりという大きな意義がある。美深町の関係人口創出の施策として位置付けるべきではないか。

町長

子どもものふるさとづくりという観点に立てば、美深町を故郷の一つと考えることができることは、とてもありがたいこと。そして、その思いに応えなければならぬ。山村留学制度への支援の在り方を、もう一

町長

人口が1万4千人もいた時代から、今では4千人の時代。その間、様々な変遷を経て今日に至るが、基本となるのは人の心だと思う。故郷を想う気持ちは私自身も大切にしていることであり、移住してきた家族の子どもたちが故郷と想ってくれる町、高齢者の方も住んで良かったという町になれるよう努力したい。

質問

町内の高齢者の方々で長年住み慣れた美深を離れる方も多い。自信を持って、安心して暮らせるための支援がもつと必要では。

度よく見直してみたい。



山村留学で移住を楽しむ

- ① 第6次総合計画の初年度にあたり令和3年度の重点施策と予算編成の考え方を問う
- ② 特色ある教育と位置付けた「山村留学」の課題解決の取組みは
- ③ 赤字が続く「びふか温泉」経営を心配する町民の声を聴く
安心を与える説明が必要では



岩崎 泰好 議員

問

削減の事業
町民の理解は

答

議会での可決が判断材料

質問

町政執行方針では、令和3年度から始まる第6次総合計画の町の将来像を「未来へ続く笑顔あふれるまち美深」と定め、誰もが安心して快適に暮らすことができる町を目指すとし、その実現に向けた確かな一歩に意を配したとあるが、財源不足をどう補い、歳出削減を可能にしたのか。削減の対象となった事業は町民の十分な理解が得られたのか、総合計画の目標と合致しているのか。

町長

財政の運営は公的需要や住民サービスの維持に必要な支出を決めてからその財源をみんなで負担しあうのが基本だが、税負担を町民に求めるのは現実的ではなく、地方交付税や補助金などにより歳入を最大限に見積りその範囲内で事業経費を算出し運営。経常経費は、徹底した

見直しによる削減、投資的経費は緊急度や事業効果を検討し検証や評価によって廃止や移行など徹底を念頭に置きつつも、総合計画推進に意を配した予算組とした。

問

疑問と失望に
どう応えるのか

答

協議会での
協議で対応

問

町民説明は

答

実施の方向

質問

美深町の特色ある教育と位置付け、その推進に新たなステップを迎える山村留学。ホスターホームや親子住宅の整備促進、山村留学推進、特認校制度導入など様々な課題にどう応えるのか。

教育長

小中併置校で少人数の特性を生かした指導や専科教育の実施など、優れた教育を提供している。一定の児童生徒確保が重要な課題。財政負担などの課題はある

質問

が、受け入れ体制や環境整備が必要であり、適切な時期にニーズに沿った対応を進め、特認校は課題整理の状況で研究協議を深めていく。

山村留学推進
協議会の運営と
助成金見直しの進め方
に、疑問と失望を抱
いている関係者がい
る。経過と今後の対
応は。

教育長

生活扶助的な現金給付に
疑義が起きているた
め
に取った措置。進め方

質問

びふか温泉経営を心配する、町民の声を聴く。説明会など安心を与える行動と、外部委員による冷静な現状分析と経営健全化方針の策定は。

町長

町民や関係者にご心配をかけ、お詫びしたい。町民への説明は、実施する方向で努力する。経営分析と改善策は、十分できていない認識で経営健全化方針の策定は、策定できる状況にない。



小口 英治 議員

- ① 各種団体の長に町長が就任すべきか
- ② 住民参加のまちづくりの推進の拡大について

問

補助金支出に

付度はないか

答

しっかりと判断し
査定等に影響はない

質問

町長が支出する補助金について自身が団体等の代表に就任していることは、具申、意見等言いづらくなる状況を生み、数年前に起きた森友学園等にもあったように忖度が生じる心配がある。会長職等は民間に任せるべきで町長が自ら就任する必要はないのではないか。

町長

補助金を削減するもの、増額するものは、しっかりと判断し査定等に影響するものではない。多数がそのような判断なら固執する何ものでもない。

問

住民参加の推進は

答

現状の中で
耳を傾ける

美深町長が代表もしくは会長の要職に就いているもの

地域公共交通活性化協議会

姉妹町友好親善実行委員会

平和祈念式典実行委員会

美深町地域担い手育成総合支援協議会

農業後継者育成推進協議会

家畜防疫推進協議会

緑化推進委員会

林野火災予消防対策協議会

美深高等学校教育振興協議会

美深高等養護学校協力会

町民大運動会実行委員会

質問

令和3年度町長の執行方針の中、第6次総合計画の「未来へ続く笑顔あふれるまち美深」を目指すにあたり、様々な機会を設け広報・広聴を推進するとあるが、推進に向けてどのような方針で取り組むのか。

町長

広報・広聴活動をさらに増やす考えはない。現在実施している中で推進する。丁寧な呼びかけを重視し積極的に会議等に出席し耳を傾けるよう自身も含め職員にも同様に求めている。



住民参加が少ない中、多くの住民参加により、一層意義のあるものになるよう努力する。

完成間近、仁宇布小中学校の課題は

産業教育
常任委員会

調査日

令和3年2月10日

調査事項・内容

仁宇布小中学校の校舎建替状況と 小規模特認校について

●建替校舎の推進状況
と雪処理対応について

●小規模特認校制度の
推進について

・SGECプロジェクトCOC認証により多くの視察が予測されるため、美深町における林産業の振興につなげていくとともに、山村留学のPRにも役立てるよう望む。

・雪処理対応については、児童生徒への被害や校舎の損傷が起らないよう十分な対策と早めの対応が必要。

・山村留学生を受け入れ素晴らしい環境を提供しているが、様々な課題もあり、町全体の理解を得られるよう学校や地域と十分協議を行い、迅速な対応を求める。



報告書の詳細は
こちらで
ご覧ください



●ホスタホーム及び親子住宅の確保について
・今後の住宅整備の方向性を示し、親子留学に対する支援の在り方について、関係者と十分協議を行う必要がある。



町広報の4月号表紙は第64回美深高等学校卒業証書授与式。7年前、私が美深中学校で勤務していた頃、離任式で卒業生を前に、いつか大人になった時、美深で一緒に働こうと別れの挨拶をしたことを、ふと思い出す。当時の卒業生も、在校生も皆、今では社会人や大学4年生になっている。約束通り、美深町内で就職している子、また町外で元気に頑張っている子たちと、挨拶を交わし、帰省した際には声を掛け

合う度に嬉しさが込み上げる。
近頃では、結婚する話や子どもが生まれたという近況を聞くようになり、成長を喜んでいる。

「若者と地域のつながりに関する調査」では、高校生が重要としているのは、友達がいて、家族がいて、お祭りや地域活動を共にする近隣の人々がいて、更には美しい自然があることだそう。

高校卒業を節目に、就職や進学を契機として、地域を離れる選択を迫られる若者たち。就職か、進学か。地元に残るか、離れるか。

若者が地元に残る選択ができる町づくりを議会としてどう取り組むか考えを巡らす。

和田 健 記

議会広報モニター
へのご応募有り難う
ございました。6名の
方に担当いただきます。



広聴活動

- 特集企画 企画を組み地域や団体などに取材します。
- 出前講座と意見交換会 気楽に集まって意見交換を開きます。お申込みをお待ちしています。
- 議会広報モニター 6名の町民モニターのご意見を広報発行に活かしていきます。

- 議会広報 予告版 発行 3・6・9・12月
- 定例会の2日前 新聞折込で届けます。
- 議会広報 速報版 発行 4・7・10・1月第2週
- 回覧板で全戸に届けます。
- 議会広報 通常版 発行予定 5・8・11・2月第2週
- 回覧板で全戸に届けます。

広報活動

令和3年度
議会広報特別委員会
活動のあらまし

情報の発信

町民と議会の

意見を聴く

架け橋として

第1回臨時会

2月22日

大雪への対応を

主な補正予算

- 高齢者等除雪サービス事業 ……560万円
- 町除雪対策費 ……3,744万円
- コロナワクチン関連予防費 ……3,497万円
- コロナ対策経営維持給付金 ……1,980万円
- 小中学校コロナ感染症対策費 ……240万円

一般会計予算に1億375万5千円を追加し、この冬の大雪に対応する除雪費の追加や新年度から始まるコロナウイルス感染症対策のワクチン接種への準備対応などの補正予算審議が行われました。

原案可決 全員賛成

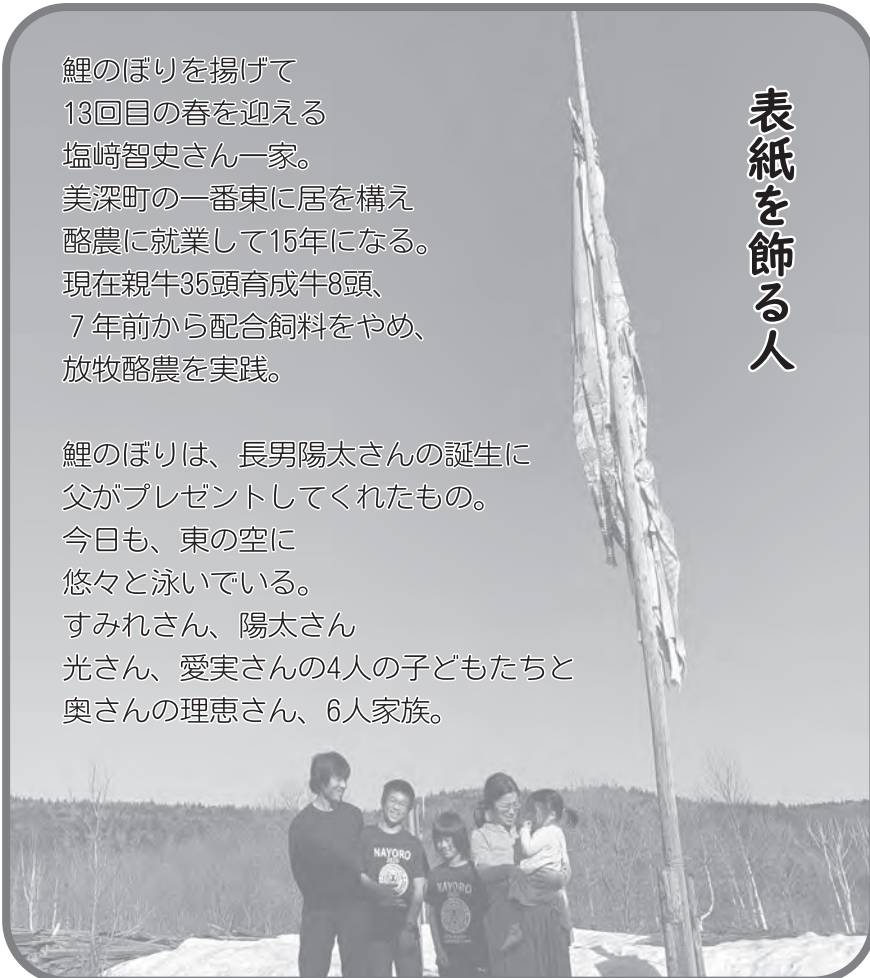
議会の動き・予定

- 2/22 議会運営委員会
- 2/22 全員協議会
- 2/22 第1回臨時会
- 2/22 全員協議会
- 2/22 議会広報特別委員会
- 3/ 1 議会運営委員会
- 3/ 2 第1回定例会開会
- 3/ 4 議会運営委員会
- 3/ 5 議会広報特別委員会
- 3/11 一般質問、議案審議
- 3/12 総務住民常任委員会付託事件審査
- 3/15 予算特別委員会
- 3/16 予算特別委員会
- 3/16 議会運営委員会
- 3/17 議案審議、定例会閉会
- 3/17 議会広報特別委員会
- 4/ 2 議会広報特別委員会
- 4/ 5 議会広報特別委員会
- 4/ 6 議会広報特別委員会
- 4/16 産業教育常任委員会所管事務調査
- 4/19 議会広報特別委員会
- 4/27 議会広報特別委員会
- 5/11 総務住民常任委員会所管事務調査

表紙を飾る人

鯉のぼりを揚げて
13回目の春を迎える
塩崎智史さん一家。
美深町の一番東に居を構え
酪農に就業して15年になる。
現在親牛35頭育成牛8頭、
7年前から配合飼料をやめ、
放牧酪農を実践。

鯉のぼりは、長男陽太さんの誕生に
父がプレゼントしてくれたもの。
今日も、東の空に
悠々と泳いでいる。
すみれさん、陽太さん
光さん、愛実さんの4人の子どもたちと
奥さんの理恵さん、6人家族。



私からのメッセージ

美深町民の
おふたりからメッセージを
いただきました。

「美深町と巡りあって、今ここに」

川崎厚志

私が美深町を訪れたのは農業実習生としてで、地域おこし協力隊の期間も含めると、約4年となり、現在は美深町商工会で仕事をしています。

も知りませんでした。そんな私が美深町を選んだのは、聞いたことのない、知らない土地で生活したかったためです。当時は農業実習の生として、いくつかの地域を巡っていて美深町もその一つでした。

美深町で生活するうえで一番の問題は、やはり冬です。

私の出身は千葉県で、近年では気温がマイナスイになることはまずないし、雪も年に1回程度です。

そんな冬しか知らなかったの、美深町で過ごす冬は私にとってはとても過酷で、「どれだけ過ごしても難しいのかな」と感じる部分です。

さて、そんな美深町

「これからも楽しいスポーツ活動を！」

小林莉奈

地域おこし協力隊として美深に帰ってきて、びふかスポーツクラブの運営に関わって3年目になりました。毎日があっという間で「美深に帰ってきてよかった」改めてそう思います。

昔からスポーツをす

ること・みることが大好きで「私にはスポーツしかない!」と思い切って東京の体育大学に進学し、卒業してしばらくはスポーツと関係のない仕事をしていましたが「美深に戻りたい」「スポーツの仕事をしたい」と強く思う事がしたい」と強く思

うようになり、故郷に
戻ることを決めました。
スポーツが大好きと
はいえ、すぐ得意な
わけでもなかったの
で、とにかく自信が
なく、最初の頃はス
ポーツ教室の度に
緊張したり、つま
くいかなくて落ち
込むこともありまし
た。今でもまだ自
信はありませんが、
失敗やハプニング
も楽しめるくらい
の余裕が少しづつ
出てきました。そ
して何よりも参加
者の皆さん、感
の楽しそうな姿や、

での生活も協力隊の任期としては残り1年弱です。定住を目指すにしてもまだまだ問題は山積みで、今後は不透明に近いです。

そんな状況ではあり
ますが、美深町での生
活を楽しめればと思い
ます。

謝の言葉がとても励みとなり、やりがいを感じています。

協力隊としての任期は残り1年となりましたが、今後もびふかスポーククラブの活動を

通して1人でも多くの
方に体を動かすことの
楽しさを伝えられるよ
う、頑張ります。

